

令和6年（2024年）11月17日

11月17日(日)、東京たま未来メッセにて「姉妹都市盟約 50 周年記念事業 三都絆祭」が行われました。その中で、小学5年生から高校1年生までの27名が参加し、「子ども☆ミライ会議」を開催しました。

「子ども・若者が考える姉妹都市の魅力の発信と将来にわたり継続できる姉妹都市交流事業」についてこれまで3回のワークショップで話し合った意見を市長・教育長に向けて発表しました。苫小牧市、日光市の子どもたちもオンラインで参加しました。



未来メッセの大きな会場での本番。苫小牧、日光の子どもたちのオンライン意見発表の後、八王子の子どもたちの発表です。舞台上に整列し、たくさんの観客を前に緊張した面持ちながらも、それぞれのグループの意見をしっかりと発表しました。手作りの資料やスライドなども使い、わかりやすい発表となるよう工夫しました。

## 発表テーマ

### 苫小牧市

- ①【姉妹都市を知ってもらうためのプロジェクト】
  - ・高校生の五感で感じる交換 Homestay の実施
  - ・ホームページやショッピングモールでの紹介
- ②【姉妹都市を知ってもらうためのプロジェクト】
  - ・スポーツ体験、名物給食、郷土料理クイズなどの学生のスポーツ DAY の開催
- ③【姉妹都市を知ってもらうためのプロジェクト PR について】
  - ・大型ショッピングモールでのワークショップを開催し、市民に周知



### 日光市

- ①【姉妹都市の魅力を伝え続けていくアイデア】
  - ・三姉妹のオリジナルキャラクターの作成
  - ・三姉妹ツアーとして三姉妹都市をめぐるツアーの実施と SNS での発信
- ②【姉妹都市の魅力を伝え続けていくアイデア】
  - ・三姉妹都市サミットの開催
  - ・三姉妹都市サミット内で、レクリエーションブース、郷土料理「食」のブース、植物園の設置
  - ・三姉妹都市の長所を取り入れたお土産作成



## 八王子市

### ①【姉妹都市を知ってもらうためのPR方法】

- ・ゆるキャラを使って絵本を作り、市内の行事に参加して配布する。
- ・小さいうちから興味を持ってもらうことができる。



### ②【姉妹都市を学ぶきっかけをつくろう】

- ・ポスターを作成(公募する)、掲示して知ってもらう。
- ・幅広い世代に知ってもらうことができる。



### ③【どこでも誰もが参加できる楽しく分かりやすい交流事業】

- ・姉妹都市クイズ大会を開く。
- ・クイズをきっかけに互いに様々な面を知ることができる。



### ④【姉妹都市について知ってもらおう】

- ・学校の図書室に、姉妹都市に関する本や資料の特設コーナーを作る。
- ・休み時間などの隙間時間に知ることができる。



### ⑤【自分の市と姉妹都市のよさを体験する】

- ・三都市が現地でキャンプを開催
- ・郷土料理の調理体験、現地の子どもがガイドとして案内する等を盛り込む。
- ・体験することで、興味が深まり、好きになる。



どのグループも姉妹都市としての歴史や魅力を伝えながら、50周年を迎えた今、これからの交流について、様々な角度から自分たちで調べ、考えた意見を述べました。市長・教育長はもちろん会場の観客にもその熱意が伝わる発表となりました。市長・教育長からの激励と称賛の言葉をもらい、子ども企画委員の表情からは自信と喜びが感じられました。

